



9年間、この時
益城町
みんなの



司会 町復興大使
小松野希海さん

**花火も町も進化 みんなで
乗り越えたから見られた景色**

復興大使の任命式でも町の自慢として祭りの話をしたほど、私にとって益城町の祭りは思い入れの深いものです。一町民として毎年楽しみにしていた祭りの司会を任せていただき、とてもうれしく思っています。

今回の祭りは私にとって本当にご褒美のようで、司会をしながら9年分の思いがこみ上げてきました。ステージから会場を見ていると、ここにいるみんなが仲間という感じがして、苦しい時期をみんなで乗り越えたからこの花火が見れているんだなと、花火を見ながら泣いてしまいました。

音楽に合わせた花火の演出など、9年前と同じではなく進化した祭りは、地震の前に戻すだけでなく、もっといい町にしようという復興を進めている益城町にとっても合っていて、町もこれからはさらに進化していくんだろうなと期待が高まりました。